

伊勢型紙・しおり

～伝統工芸に触れよう～

着物を染めるための道具である鈴鹿の伝統工芸、伊勢型紙。それをここでは好きな下絵の形に切り抜き、色紙に貼って飾ったり、本のしおりとして使ってみませんか。

1. 準備物

少年自然の家にあるもの 渋紙、色紙、カッティングマット、カッター、のり用バット、のり、ホッチキス、はけ、色紙用型枠、古新聞、ラミネートフィルム、ひも、穴あけパンチ

準備していただくもの 人数分の下絵のコピー

2. 場所と時間

自然の家“創作室”または“講義室” 2～3時間（絵柄による）

3. 費用

色紙 1セット 310円
しおり1セット（2枚分）150円

4. 指導について

自主活動ですので職員の指導は行いません。

5. 方法・進め方

- ① 渋紙と下絵をホッチキスで軽く止め、カッティングマットを敷き、下絵の白いところを切り抜く。

☆きれいに切り抜くコツ☆

- ・中心部から彫る
- ・下絵を動かしながら彫る



- ② 彫り終わったら、刷毛で出来上がった渋紙にのりを塗って色紙に貼る。しおりの場合はラミネートをし、パンチで穴を空けてひもを通す。

